

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371200730
事業所名	グループホーム まると道德

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2) 町内の一員として町内会行事に参加できるように、入居者一人ひとりと事業所が個別に町内会に加入し、町内行事の祭りや運動会などに積極的に参加しているが、今年度もコロナ禍のため行事は自粛をしている。資源ごみの当番や公園の清掃等には継続して参加している。日常的に取り入れていた日々の散歩や買い物などは、コロナ感染症の情報や状況を確認しながら地域との繋がりを再開していく心積りをしている。近くの公園へは、状況を確認し散歩がてら出かけ、四季の風情を楽しめるようにしている。大学から依頼のある地域福祉のアンケート等に協力している。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3) 運営推進会議は2ヶ月毎に、入居者や家族、地域代表、町内会長OB、いきいき支援センター等の参加を得て開催しているが、新型コロナウイルス感染予防のため引き続き書面での開催となっている。会議録に事業所の運営やサービスの状況、課題などに加え、新型コロナウイルスの感染防止と運営報告についてわかり易く記載している。地域代表や委員からの意見は、電話やアンケート用紙で聴取し、コロナ禍の事業運営に活かしている。ホーム便りの中にポイント的に記載し、家族へ届けている。	評価	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4) 申請代行や運営、生活保護関係等で、窓口を訪れていたが、コロナ禍により郵送する書類も多くなっている。現在は、電話やファクス、メールなどで情報交換をし、今まで以上に協力関係を密にしている。名古屋市介護ネットを定期的に確認し、指示や指導に沿って対応し業務に反映させている。アンケート等の要請にも協力している。新型コロナウイルス感染予防のため研修等はWebなどで受講している。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6) 入居者からは日々の暮らしの中から思いを聞き、記録して職員間で共有シケアに繋げている。家族からは面会時やケアプラン承認時、また必要に応じて電話で接遇やサービス内容、施設の環境などの意見や要望を聞きサービスの向上や業務改善に役立っている。コロナ禍により家族の面会は状況に応じて流動的な対応としているが、ホーム便りを発行して面会規制の説明や緩和状況を発信し家族に安心を届けている。	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	評価	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	評価	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価	○
総合評価			◎

【備考欄】

・運営推進会議は引き続き書面での開催となっているが、今年度は会議録に通常の報告事項の他に、新型コロナウイルスの感染防止と運営報告についてわかり易く記載し、感染予防の啓発に努めている。地域代表や委員からの意見は昨年度同様電話やアンケートで聴取し、コロナ禍の事業運営に活かしている。
 ・家族の面会は、感染状況や行政の情報を確認しながら状況に応じて対面や電話など流動的な対応とする。
 ・コロナ禍が続く中で、入居者のより良い生活基盤を新しい視野で模索をしている。

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	○	◎								